



わかみ通信

令和8年
3月号

丹波篠山市立八上小学校・幼稚園だより

【令和8年度 学校教育目標・園教育目標】

やさしい心もち 自らかんがえ みなぎる元気な 児童園児の育成

ご卒園 ご卒業 修了 おめでとうございます。

3月19日（木）の修了証書授与式で卒園する年長児（そらぐみ）11名は、それぞれに、園での様々な体験や人との関わりを通して逞しく成長しました。また23日（月）の卒業証書授与式では、13名が伝統ある八上小学校を巣立ちます。この学年の小学校生活は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための全国一斉臨時休校期間から始まりました。特に6年生としてのこの一年間は、相手を大切にした言動、人間力（自分を高める力、自分と向き合う力、他者とつながる力といった「非認知能力」）を高めることを意識して過ごしました。中学校でも、周りの人を幸せにするためにその持ち前のパワーを有効に使い、益々活躍してくれることと思います。在園児、在校生も、それぞれ一年前よりも、やさしい心や自らかんがえる力が広がり、心身ともに元気がみなぎった様子で一年を締めくくろうとしています。

保護者の皆様、地域の皆様には、本年度も校園の教育活動へのご協力をいただきましたこと、八上っ子を支援見守っていただきましたことに心より感謝いたします。



4月行事予定

日	曜	学校（園）行事	日	曜	学校（園）行事
1	水	春季休業日	16	木	SC 全校終会 14:25 幼：午前保育
2	木	春季休業日	17	金	身体・視力・聴力測定 ALT 幼：給食開始 身体測定
3	金	春季休業日	18	土	
4	土	春季休業日	19	日	
5	日	春季休業日	20	月	高城集会 身体・視力・聴力測定 全校終会 14:05
6	月	春の全国交通安全運動～15日 春季休業日	21	火	心電図検査 1・4年 幼小校区巡回（担任等が各園児児童のお家の場所を確認）
7	火	春季休業日終了 第1回PTA合同委員会 19:00	22	水	尿検査 幼小校区巡回
8	水	登校指導 対面式・始業式 全校終会 11:30 入学式 9:30 全校終会 11:30	23	木	全国学力学習状況調査 6年・市学力調査 5年 尿検査予備日 全校終会 14:05 幼小校区巡回
9	木		24	金	地域連携消防訓練 10:30 授業参観日 13:05 幼小PTA総会 14:00 全校終会 14:05 学級懇談会 15:00 幼：保育参観 10:10 学級懇談会 10:40
10	金	地区児童会 全校終会 11:30 下校指導 幼：年長児対面式・始業式 午前保育	25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	全国学力調査児童質問紙 6年 全校終会 14:05
13	月	身体・視力・聴力測定 給食開始 全校終会 14:25 幼：入園式 10:00 午前保育	28	火	幼小歯科健康診断
14	火	身体・視力・聴力測定 全校終会 14:25 幼：午前保育	29	水	昭和の日
15	水	身体・視力・聴力測定 安全点検 全校終会 14:25 幼：午前保育	30	木	幼：春の遠足 お弁当日

学校園評価について

学校園では、毎年、1年間の評価として保護者の皆さま（小学校は児童も）からアンケートを取り、日々の教育活動の振り返りや学校の抱えている課題の把握に努めています。保護者の皆さまには回答いただきありがとうございました。この結果を学校関係者（幼小学校運営協議会）の皆さまに評価していただきましたので、お伝えいたします。

評価いただいた内容をもとに、今後も幼小学校運営協議会を中心とした地域の皆様、保護者の皆さまとともに子どもたちの育成に努めていきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

（達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する）

園評価項目	達成状況	園自己評価の結果及び改善方策についての評価
人や自然との出会い、体験学習を通して感動の心や愛情を育てているか。	A	挨拶ができるかという項目については、他に比べると保護者の数値が低い。引き続き、民生委員児童委員、PTA 挨拶運動や日頃からの交流等も活かして、挨拶ができる子を育てていく必要がある。
発達年齢に応じた基本的な生活習慣の自立を図っているか。	A	幼小学校運営協議会、PTA を中心に園・家庭・地域が同じ方向で園児に関わっていくことで習慣化されていくと考える。今後も連携して切れ目のない支援を行いたい。
経験したことや、自分の気持ちを言葉で表現し伝える教育ができてきているか。	A	情報化の急激な発達により幼い子どもも様々な情報機器に触れている。子どもたちがデジタル機器とよりよく付き合い、正しい情報を選択する力や自分の力で考える力を育てたり、本等の紙媒体に触れることも大切にしていく必要がある。
栽培活動や給食等を通して食に関する知識や感謝の気持ちを育てているか。	A	スマホやテレビなどの視聴の問題が、睡眠や食事等、生活習慣の問題にもつながっていく。園からの啓発もさらに進め、家庭と地域みんなで子どもを育てる環境を作りたい。

学校評価項目	達成状況	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
教科担任制も有効活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体化により児童の自己学習力をつける。 全校やクラスの学び合いや対話活動を通して、協働的に学ぶ力の育成に取り組んでいるか。	B	各児童がインターネットを使う時間が増えているという結果を受け、何に使っているかをさらに詳しく分析し、課題解決に向けた具体的な方策も明確にしていく必要がある。デジタル機器は、ゲームにばかり使ってしまったら視力が低下したりするマイナス面もあるが、うまく活用すれば、手書きするのは苦手でもタイピングで入力して表現できる等プラス面もある。タブレット端末を活用した個別最適な学びを引き続き積極的に進めていくと同時に、読書や手書きで書く活動等、紙媒体に接する時間の確保にも努めていく必要がある。学び合う活動は大切にしながら、基礎的学習力をつけていくためのよりよい方策を探り取り組んでほしい。授業参観で、頑張っている児童の様子を見ることができた。今後、体験活動の講師だけでなく学習支援等においても、さらなる地域人材の充実や協力体制構築を図っていく。
保護者や関係機関等との連携を充実させ、児童の安心感や自己肯定感・有用感を高められるよう指導しているか。	A	現在の子どもたちを取り巻く状況から、スマホやタブレット端末を使わずに生活していくことは難しいため、学校と家庭が連携して、子どもたちが情報機器とのよりよい付き合い方をできるよう力をつけ、安全かつ有意義に活用できる方法を考えていきたい。校外学習の様子等を見て八上っ子の元気な様子がわかって嬉しい。今後も地域やPTAの挨拶運動を継続し、家庭、地域と連携して気持ちのよい挨拶ができる児童を育成していく。
学習や訓練を実施し安全・防犯意識を高めている。校舎や教室の環境整備に取り組んでいるか。	A	地域学校園安全委員会（学校運営協議会）等による安全点検において校舎外の点検も行い、歯磨き活動をさらに積極的に行うための手洗い場への鏡の設置、冬季の水道凍結防止のための手洗い場のブルーシート覆蓋等、指摘事項について可能な限り改善することができた。今後も、児童の視点や保護者、地域の視点を取り入れ安全で安心できる学校づくりを進めていきたい。